資料７

福岡市地下鉄中期経営指針
進捗状況

平成３０年５月
福岡市交通局

目　次

Ⅰ　福岡市地下鉄の現況 …… ２ページ

Ⅱ　目標の達成状況 …… ４ページ

Ⅰ　福岡市地下鉄の現況

■路線の概要

・本市地下鉄は，昭和５６年７月に室見～天神を開業して以来，順次，延伸・開業を重ね，現在は，３路線，２９．８㎞で営業を行っています。

・市内要所で，ＪＲ，西鉄の各路線と接続し，福岡都市圏の基幹交通網の要としての役割を担っています。

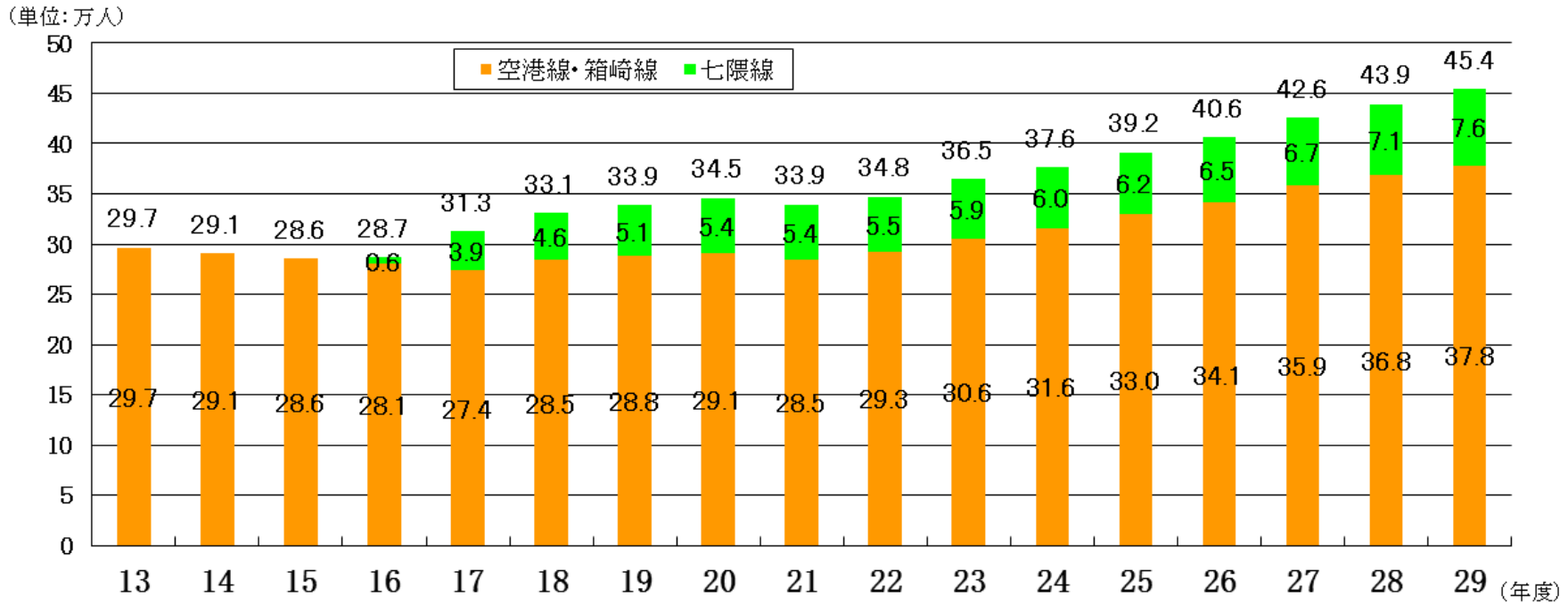
・また，空港線は地下鉄として全国で初めて空港乗入れを実現し，地下鉄路線を軸として，ＪＲ，西鉄の各路線と国内外の航空路線を結ぶ広域交通ネットワークを形成しています。

項目＼路線名	空港線（１号線）	箱崎線（２号線）	小計	七隈線（３号線）	計
区間（起・終点）	姪浜～福岡空港	中洲川端～貝塚	－	橋本～天神南	－
建設キロ	14.9km	5.2km	20.1km	12.7km	32.8km
営業キロ	13.1km	4.7km	17.8km	12.0km	29.8km
駅数	13駅	7駅（含中洲川端）	19駅	16駅	35駅
他線との接続	・姪浜でＪＲ筑肥線と相互直通運転 ・天神で西鉄天神大牟田線と接続 ・博多で新幹線やＪＲ鹿児島本線と接続	・貝塚で西鉄貝塚線と接続		・薬院で西鉄天神大牟田線と接続	

■乗車人員

・本市地下鉄の乗車人員は，平成17年2月の七隈線開業を契機に増加傾向となり，その後も九州新幹線全線開通や地下鉄沿線の商業・集客施設の開業等に伴い，順調に推移してきました。

・平成26年度には，１日あたりの乗車人員数（全線）が40万人を突破しました。それ以降も，主に天神・博多など都心部の集客力を背景にして，乗車人員数が伸びております。



Ⅱ　目標の達成状況

■「福岡市地下鉄中期経営指針」における目標とその達成状況

【目標１】安心してご利用いただける地下鉄を目指します

●指標

・事故件数　０件

●達成状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
鉄道運転事故	１件（※1）	0件	0件	0件
輸送障害	0件	0件	3件（※2）	0件
インシデント	0件	0件	0件	0件

（※1）運転士が誤って非常ブレーキを操作したことによるお客様の負傷。
（※2）車両故障１件，信号故障１件，軌道内立入（自殺未遂）１件。
→速やかに発生原因の究明を行い，再発防止策を講じました。

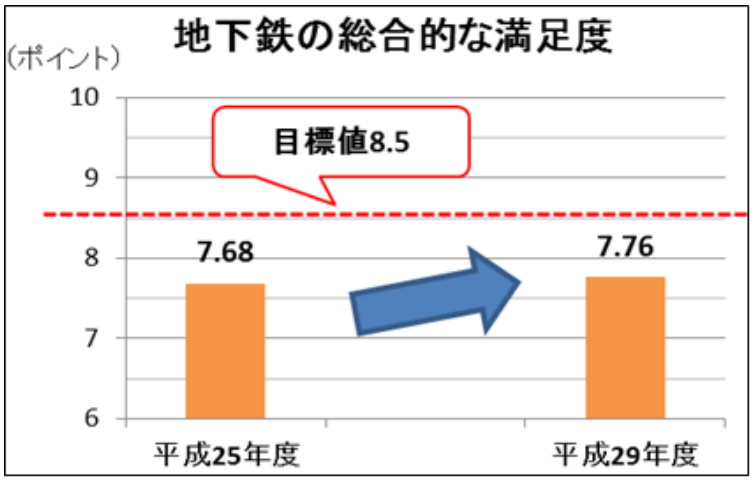
「鉄道運転事故」とは，衝突，脱線，火災，人身障害など，国の規則で報告を定められた事故をいいます。
「輸送障害」とは，国土交通省令で報告が義務付けられた，鉄道による輸送に障害を生じた事態であって，列車に運休または30分以上の遅延が生じたものをいいます。
「インシデント」とは，結果的に事故には至らなかったものの，事故が発生してもおかしくなかった危険な事態で，国の規則で報告を定められたものをいいます。

【目標２】誰にでも利用しやすく，魅力的な地下鉄を目指します

●指標

・お客様満足度 ８．５以上

●達成状況



お客様への各種案内のわかりやすさ等に対する満足度の上昇に牽引され，総合的な満足度は平成25年度から微増しました。

ただし，乗車人員の増加等の影響により，快適さ（乗り降りのしやすさ，車内温度）や乗車マナーに関する項目など，満足度が低下したものもあります。

また，中期経営指針における平成30年度の目標値８．５とはやや開きがある状況であり，引き続きお客様満足度向上の取り組みを進めて行く必要があります。

【目標３】環境にやさしい地下鉄を目指します

●指標

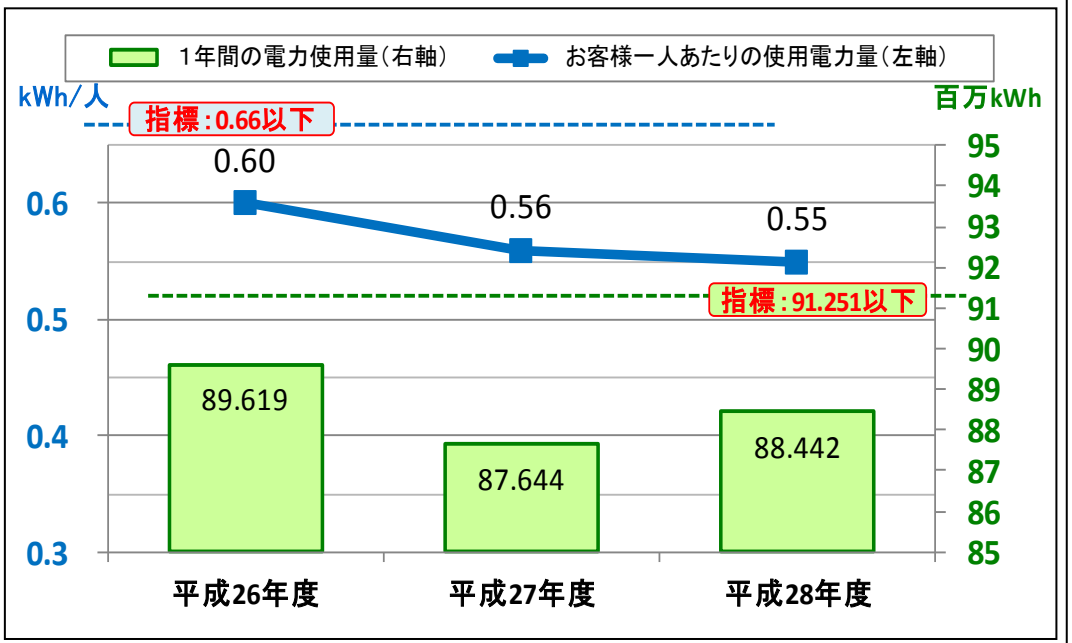
・お客様一人あたりの使用電力量 0.66kWh/人 以下

・１年間の使用電力量 91,251 千kWh 以

●達成状況

「お客様一人あたりの使用電力量」については，電力使用料削減の取組やご利用いただいたお客様の増加により，指標値を達成しております。

「１年間の使用電力量」については，お客様の増加により平成28年度に増加しているものの，現在のところ指標値を達成しております。



【目標４】長期的な視点に立った経営健全化を推進します

●**指標**

・長期収支見通しの着実な達成

●**達成状況**

乗車人員

新企画乗車券の発売やイベント等に合わせた臨時列車のきめ細かな運行など，乗客誘致活動を積極的に行うことで，平成21年度以降着実に増加しており，計画を大幅に上回る乗車人員となっています。

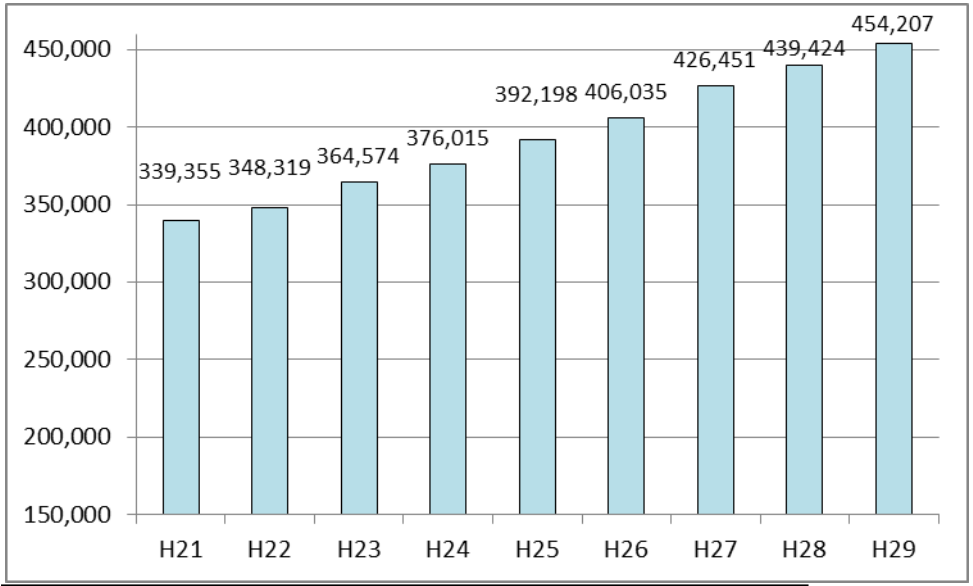
単年度損益

長期収支見通しにおける目標を７年前倒し，平成２３年度に単年度損益（全線）の黒字化を実現して以降，順調に推移しております。なお，平成２６年度は会計制度の見直しに伴い一時的に赤字となりましたが，当該見直し等に伴う影響を除く経常損益では黒字であり，平成２７年度以降においても毎年度黒字で推移し，目標を大幅に上回っています。

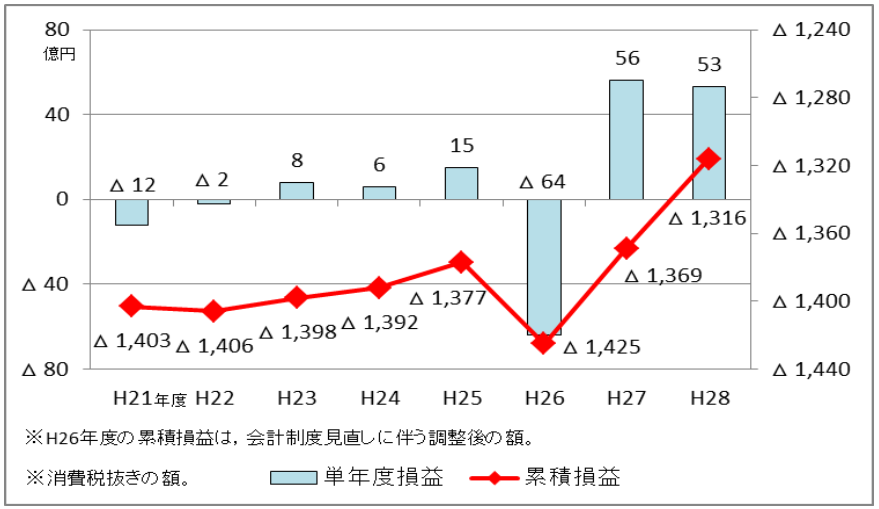
企業債残高

平成１６年度（3,680億円）をピークに着実に減少しており，各年度とも目標を達成しています。

乗車人員



単年度損益・累積損益

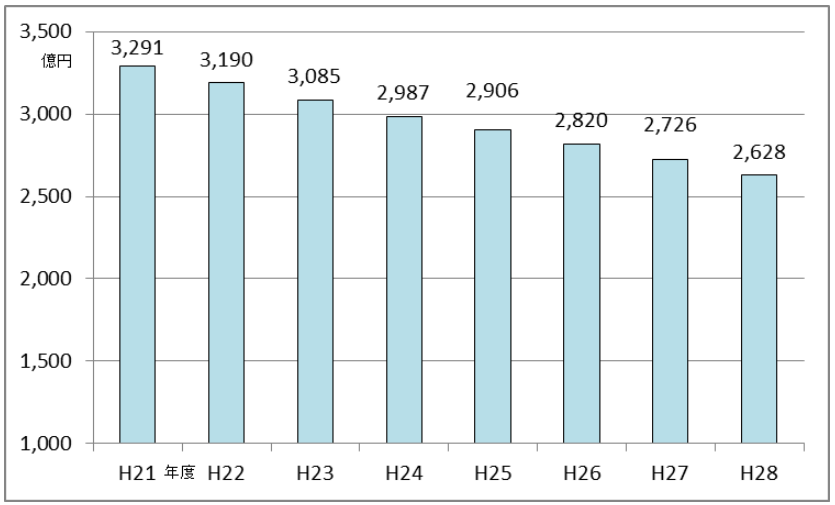


長期収支見通しとの比較（平成28年度）

	長期収支見通し	決算	決算－長期収支
乗車人員（人/日）	365,231	439,424	74,193
単年度損益（百万円）	△1,125	5,325	6,450
累積損益（億円）	△1,494	△1,316	178
企業債残高（億円）	2,739	2,628	△ 111

※単年度損益・累積損益は消費税抜きの額

企業債残高



【目標５】七隈線延伸事業を着実に推進します

●指標

・平成３２年度の開業に向けた事業推進

●達成状況

延伸事業については，土木本体工事や駅出入口工事等を推進するとともに，線路や駅舎等に関する工事の設計を進めておりましたが，平成２８年１１月に博多駅（仮称）工区ナトム区間において道路陥没事故が発生いたしました。

道路陥没事故を受け，開業予定時期を２０２２年度（平成３４年度）に見直しました。

また，事業費の見通しにつきましても，陥没事故の影響や現在の社会情勢等を踏まえ，変更しております。

今後は，安全を最優先に，かつ着実に延伸事業を推進してまいります。

事業概要

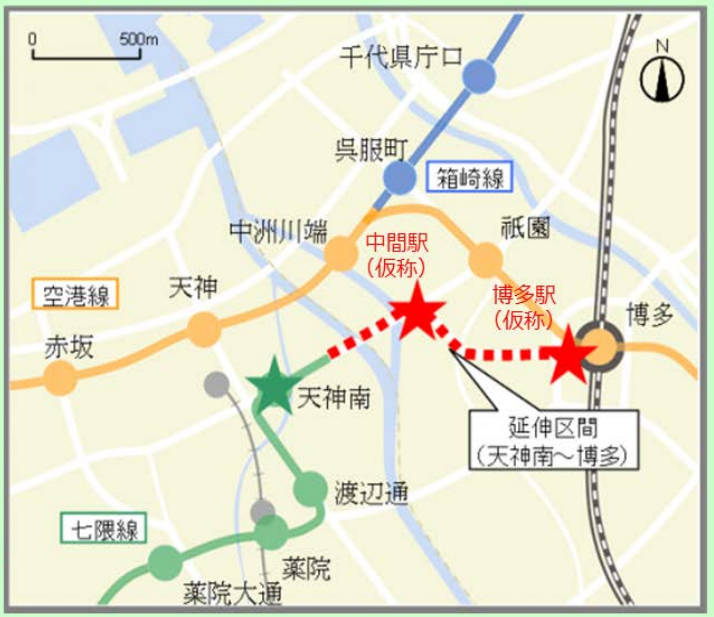
区間
天神南～博多

建設キロ
約1.4Km（営業キロ:約1.6km）

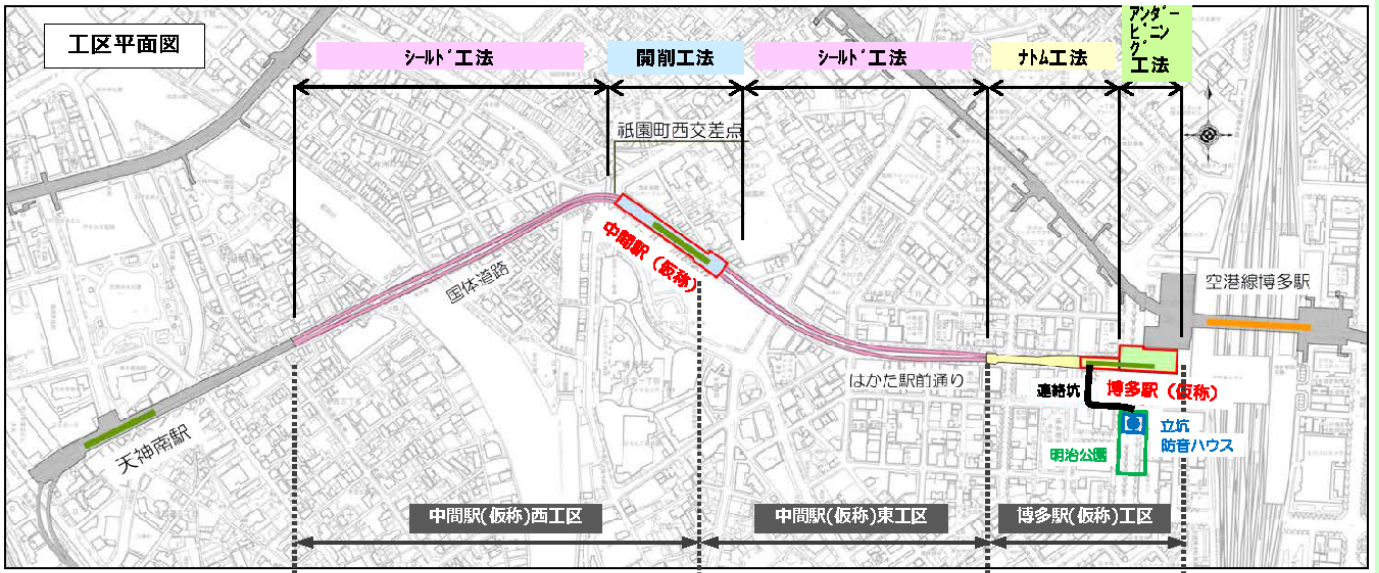
建設費
約450億円 ➡ **約587億円**
※労務費等の上昇や道路陥没事故の影響を踏まえ，変更

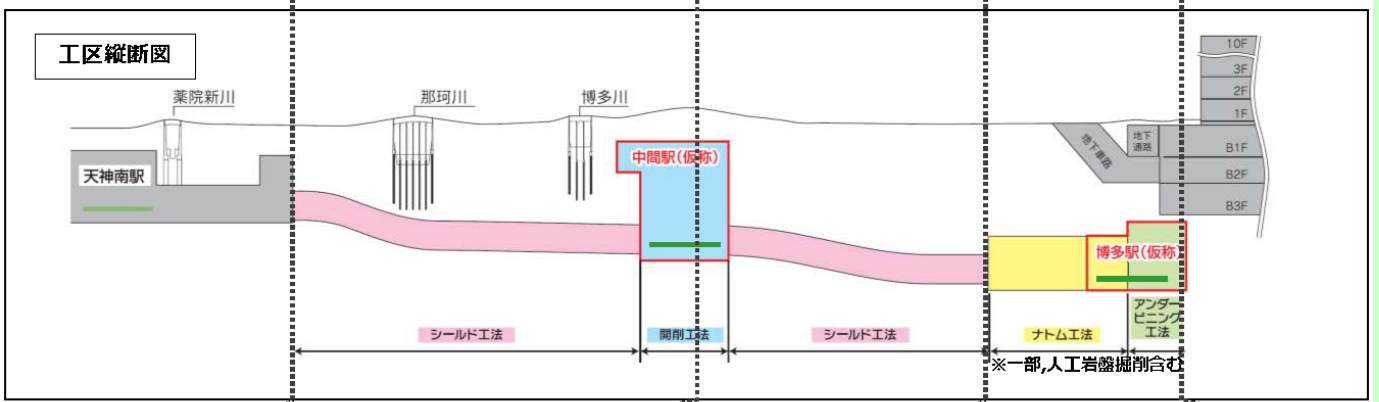
乗車人員
約8.2万人/日（需要定着後）
うち，新規利用者数：約2.3万人/日

開業予定
2020年度（平成32年度） ➡ **2022年度（平成34年度）**
※陥没事故の影響等を踏まえ，変更



工事概要図





福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）西工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）東工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 博多駅（仮称）工区建設工事